

令和4年大船渡市教育委員会第3回定例会会議録

1. 日 時

令和4年3月11日（金） 午前10時00分から午後12時00分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4. 説明等のため出席した職員

教育次長兼教育総務課長	遠 藤 和 枝
生涯学習課長	山 岸 健悦郎

5. 議 事

- 議案第1号 令和4年度大船渡市教育委員会事務局職員等の定期人事異動に関し議決を
求めることについて
- 議案第2号 大船渡市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて
- 議案第3号 大船渡市立地区公民館長の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第4号 大船渡市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について
- 議案第5号 大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画の一部改訂について

6. 報告事項

（教育次長）

- ① 令和4年大船渡市議会第1回定例会について

（学校教育課）

- ① 令和4年度大船渡市立小・中学校入学式の日程について

7. 会議の概要

（教育長）

- ・ 令和4年大船渡市教育委員会第3回定例会の開会を宣言する。
- ・ 令和4年第1回臨時会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・ 諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

（教育次長）

- ・別添資料等により、学校教育課分も併せて報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(委員)

- ・各学校ではタブレットを大いに活用しているようだ。これまでの教育実践の蓄積をICTの活用により授業改善につなげていくことが求められているため、先生方はハード面の習熟に加え、ソフト面でも大変になってくるだろう。
- ・タブレットを学校で操作する場合、トラブルが起きても先生が対応できるが、家庭の場合は違ってくる。タブレットの持ち帰りについては、きめ細やかな説明や指導が必要である。
- ・通信環境が整っていない家庭でも、タブレットに課題を学校でダウンロードしたり、オフラインでも対応できる課題にしたりするなどの工夫により、効果的な対応が十分できると感じた。
- ・タブレットと併せて電子黒板やプロジェクターなどの大型掲示装置の整備を図り、より効果的な活用をしてほしい。
- ・全国的に登校時よりも下校時の事故が多く感じる。登校時の安全指導もだが、下校時の安全指導も徹底してほしい。
- ・全国学力調査や体力・運動能力に係る調査からは、コロナ禍による子どもたちの学力や体力への顕著な影響は見られないとのことだが、今後も感染防止対策の徹底に努めるとともに、児童生徒の心身の状態に配慮しながら、教育活動を実施してほしい。

(教育次長)

- ・ICT支援員を模索したが、来年度の配置には至らなかった。ソフト面に学校差、学年差がないように充実させた方が良いとの声もあることから、先生方の負担軽減を図りながら、ICT教育に向けた体制を構築していく必要があると考えている。
- ・国のGIGA構想においても電子黒板とタブレットはセットで考えられている。来年度から電子黒板が全学級に配置されることとなり、ようやく基盤が整う。
- ・タブレットはオフラインでも家庭での学習は可能であるが、一方で双方の顔をみて学習したいという面もある。まずはオフラインで始めつつ、オンラインで学習する方向を検討したい。

(教育長)

- ・これからは、タブレットを使った授業がどんどん増えていくだろう。首都圏との格差、市内においても学校間での格差がないように指導していく必要がある。

(委員)

- ・学校や学年間での格差という不安要素は、移行期において常に付き物である。タブレットは非常に便利ではあるが、ログインにも困っている状況であり、タブレットに特化した授業をする前に、従来型の授業も進めていかなければならない。今、通っている子どもたちは、この移行期のどの段階にあり、タブレットはこういう使い方をしてるとか、弟や妹の時には、この段階になり各家庭ではこういうものが必要であるなど、大船渡市の目標点や通過点など流れがわかるロードマップ的なものを提示してほ

しい。

(教育次長)

- ・G I G Aスクール構想は、本来複数年かけてハードを準備していく段階だったものが、コロナ禍により一気に前倒しとなったため、国においてもソフト面は始まったばかりである。ロードマップ的なものは国の動き等も見据えながら考えていきたい。

(委員)

- ・その流れがわかるのはいつなのか。例えば、今年の4月に中学校へ入学した場合、中学校の3年間でどう過ごすのか提示してほしい。大々的にやっている割に、ログインの仕方程度で終わっているように感じる。大船渡市として、どのように取り組んでいくのか。独自に取り組むのが難しいのであれば、国のスケジュール感も併せて提示してもらえるとわかりやすい。

(教育次長)

- ・授業を含めた具体の部分については、市だけで決定するには難しいところがある。今は暗中模索の状態ではあるが、教育委員会内で検討し、年度内の進捗状況など可能なものを示しながら進めていきたい。

(委員)

- ・学校のニーズに合わせて教育研究所の指導主事が支援をしているとのことだが、学校からの具体的な要望や困りごとを簡単にまとめて知らせてほしい。

(教育長職務代理者)

- ・全国的には相模原市が先進的にICTを進めている。そういった先進事例を参考にするものいいだろう。

(教育次長)

- ・まずは来年度、当市がどこまでを目指すのか身近な目標から立てていき、進めることが大事だと感じている。

(教育長)

- ・現在の小学校学習指導要領になって2年目となる。どのような手法であれ、つまり、タブレット使用の有無を問わず、その内容を子どもたちに定着させることが基本である。その中で、それぞれ特色ある学力や学校経営をするために、どこに重点をおくかは学校ごとに違ってくる。
- ・来年度からAIドリルを導入する。子どもたちにタブレットを使った学習の方が楽しいと感じさせていきたい。校長会議では教科の中に、どのような形でタブレットを導入していくかをまず考えてほしいと伝えている。

(委員)

- ・教員養成課程の大学でICTの活用方法などを習得するのか。あるのであれば、いつ頃から登用されるのか。

(教育長)

- ・単位としては、今のところ無いと思う。

(委員)

- ・定着するまでに時間がかかる印象がある。社会のデジタル化は、すごいスピードで進んでいるが、そのギャップをどう埋めるのか。

(教育長)

- ・現在、プログラミング教室に通っている子どもの中でも将来有望な子がいると聞いている。既にプログラミングを習っている子がいることを考えると、先生方も深めていく必要があるだろう。

(委員)

- ・教員の仕事を軽減することもタブレット導入の目的だと思うが、定着までに時間がかかるうえに、タブレット改革を進めるために先生方の負担が増える。1年間で完了しないのであれば、移行期の期間を定め、その期間にICT支援員を配置してはどうか。

(教育次長)

- ・適材がなかなかいない。

(委員)

- ・人材はすぐに見つけてくるべきだと思う。
- ・理想があり、到達するまでに時間がかかり、みんなの仕事量が増えていく移行期をどのように円滑に成長期に持っていくか、過程が大事になってくる。時系列での目標・達成があると取り組みやすく、保護者に対して説明がつくだろう。そのような資料があるといい。

(委員)

- ・移行期には先生方の負担も出てくるが、その逆もある。今年、タブレットを使った授業を観た際に、今までは苦勞していたことが簡単に出来ると感じた場面が何カ所もあった。これから授業を進めていく中で、むしろ負担よりも良い面がどんどん出てくるのではないかと思った。
- ・タブレットについては、子どもと一緒に学んでいくことが一番大きいのではないか。自分が教えていた時、授業の中で子どもたちの意見から「ああ、そういう考えもあるのだな」と、こちらが学ぶ機会も多かった。国や教育委員会が方針を示しても、実際にやるのは先生方である。子どもたちからの意見を吸い上げて、そこから自分も学び、技能を高めていくのが一番ではないか。

(委員)

- ・タブレットを使うことで、予定外のことを先生方も子どもたちも習得できる場面が多くなるということか。

(委員)

- ・授業や子どもとの交流の中で、予想もしない反応が出てくることがある。タブレットが無い時は、言葉での説明で終わっていたが、今は、画面に映しながら説明することができ、とても理解しやすくなる。そういう使い方をしていけば、かなり効果的になっていくだろう。ただ、そこまで習得するのは大変だと思う。指導してすぐ技能が上がるわけではない。時間はかかるものだと思っている。

(教育長)

- ・使って、実践していくのが一番かと思う。個に応じた指導といっても、今までも個々の子どもたちを活かした指導をしてきた。その指導を先生が個々に対応していたところを、タブレットを使い子どもたちが自分で調べ学習をしたり、予習・復習をしたりすることで先生方の負担が減っていくと考えている。子どもたちの情報活用能力が長

けてくれば、授業もどんどん進んでいくだろう。

- ・技術面は、業者と提携して研修会を実施している。授業にどう活かしていくかという部分をICT支援員に支援してもらうこととなるため、授業の内容がわかりコンピュータに長けている先生が適任だと思っている。

(委員)

- ・他市の話を見ると、授業に携わったことがない方には難しいらしい。やはり、学校の先生のような方が支援員になれば効果的だと思う。

(教育長)

- ・他の市町村も同様に考えており、特定の市に固まっている。県内で調整して配置してもらえればと思う。

(委員)

- ・先行事例などの具体的な例があれば、要望しやすいのではないか。

(教育長)

- ・県でも岩手県ICT推進協議会を設置し、指定校で実施した授業の資料を提供している。

(教育長職務代理者)

- ・当市では教師の負担軽減に向けて、教育研究所の指導主事が学校に出向き、先生方に指導している。先生方は大変助かっていると思うが、指導主事の負担もかなり増えている。やはり、複数校に何名かでもいいので、ICT支援員を配置してほしい。

(教育長)

- ・人数的なことを言えば、小学校は教科担任制に移行していく。一昨年から、英語専科1名が配置されており、更に来年度から理科専科2名が配置される予定であるため、小学校高学年の担任は、多少ゆとりが出てくると思っている。
- ・委員の方々の意見を参考とし、ICT活用への関わり方や目標値の設定についても検討していきたい。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。
- ・日程第2、議案第1号についてであるが、人事異動に関し部外秘であることから秘密会にしたいと考えるがよろしいか。

(教育委員)

- ・異議なし。

(教育長)

- ・それでは、会議規則第13条第1項の規定により、議案第1号は秘密会とする。

教育次長以外の職員と一般傍聴人は退席を願う。

～議案第1号 令和4年度大船渡市教育委員会事務局職員等の定期人事異動に関し議決を求めることについて、秘密会のため会議録省略～

(教育次長が説明し、教育長が採決を諮る。全員異議がなく、議案第1号は原案どおり

可決される。)

(教育長)

- ・ 秘密会を解き、会議を続行する。
- ・ 日程第 3、議案第 2 号について説明を求める。

(生涯学習課長)

- ・ 日程第 3、議案第 2 号 大船渡市社会教育委員の委嘱に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・ 議案第 2 号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・ 質問、意見がないことを確認後、議案第 2 号について諮る。
- ・ 全員異議がなく、議案第 2 号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・ 日程第 4、議案第 3 号について説明を求める。

(生涯学習課長)

- ・ 日程第 4、議案第 3 号 大船渡市立地区公民館長の任命に関し議決を求めることについて、説明する。

(教育長)

- ・ 議案第 3 号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・ 質問、意見がないことを確認後、議案第 3 号について諮る。
- ・ 全員異議がなく、議案第 3 号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・ 日程第 5、議案第 4 号について説明を求める。

(教育総務課長)

- ・ 日程第 5、議案第 4 号 大船渡市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について、説明する。

(教育長)

- ・ 議案第 4 号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・ 質問、意見がないことを確認後、議案第 4 号について諮る。
- ・ 全員異議がなく、議案第 4 号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・ 日程第 6、議案第 5 号について説明を求める。

(教育総務課長)

- ・ 日程第 6、議案第 5 号 大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画の一部改訂について、説明する。

(教育長)

- ・ 議案第 5 号について、質問、意見を求める。

(教育長)

- ・質問、意見がないことを確認後、議案第5号について諮る。
- ・全員異議がなく、議案第5号を原案どおり可決する。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないか確認する。

(教育長職務代理人)

- ・今日で震災から11年を迎える。市内各小中学校では、震災・津波の風化を防ぎ、教訓を後世に語り継いでいこうと、学習や活動を充実させていると思う。各校の取組の中で、特に紹介したい実践例があれば教えてほしい。また、復興教育、防災教育を推進していくうえでの課題等も教えてほしい。

(教育長)

- ・教育研究所から本日期限で各学校に照会しているところである。4月には、新たに当市に赴任する教員を対象に研修会を実施する予定である。併せて後で報告したい。

(教育長職務代理人)

- ・震災時、小学校1年生だった子どもたちが、この春に高校を卒業する。社会に巣立つ者、進学する者、すごく大きい区切りとなる。みんな元気で活躍し、地元のために何か関わってくれるような人になってほしいと思う。

(教育長)

- ・その他、質問・意見、追加議案がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和4年大船渡市教育委員会第3回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理人

委員

委員